

日本保健物理学会第 56 回研究発表会 プログラム

会期：2023 年 11 月 9 日（木）～ 11 月 10 日（金）

会場：グランドニッコー東京台場ホテル 29 階（銀河・光・虹・茜）
グランドニッコー東京台場ホテル地下 1 階（パレロワイヤル）

*****11 月 8 日（水）*****
**INTERNATIONAL YGN WORKSHOP ON CHALLENGES OF RADIATION
PROTECTION 2023**

日時：2023 年 11 月 8 日（水） 14：00～17：30

会場：グランドニッコー東京台場ホテル 29 階（光）

14:00–15:30 Introduction of YGN activity

16:00–17:30 Group work

*****第 1 日目 11 月 9 日（木）*****

会場：グランドニッコー東京台場ホテル 29 階（銀河）

9:30–9:45 開会式

9:45–10:45 一般セッション 1A1 環境放射線（能）

座長：岩岡和輝（量研機構）

1A1-1 Tin Oxide (SnO₂) Nanoparticles: Synthesis, Characterization, Adsorption Studies and Application as U(VI) Scavenger from High Uranium Prevalent Groundwater Samples from Mansa District of SW-Punjab

○Satvir Singh¹、Sunil Kumar¹、Anupinder Singh¹、K. Inoue²、B.S. Bajwa¹、Inderpreet Kaur¹ (Guru Nanak Dev Univ.¹、Tokyo Metropolitan Univ.²)

1A1-2 降雨時空間線量率上昇に対する長距離輸送ラドンの影響

○山澤弘実、打田真聖（名古屋大・院・工）

1A1-3 アクチニドの網羅的分析を目指した蛍光 X 線・自発特性 X 線ハイブリッド計測

○吉井裕^{1,2}、柳澤右京^{2,1}、松山嗣史^{3,1}、小川優大^{4,1}、浅井竜哉^{4,1}、酒井康弘^{2,1}（量研・放医研¹、東邦大・理²、阪公大・院・工³、福井大・工⁴）

1A1-4 回転機能付き全方向コンプトンカメラによる高感度環境ガンマ線イメージング

○溝口孝大¹、村石浩¹、榎本良治²、片桐秀明³、加賀谷美佳⁴、渡辺宝¹、塚本ひかり^{1,5}、福本仁也¹、加納大輔⁶、本多良太郎⁷、庄子正剛⁷、田中真伸⁷
(北里大・院・医¹、東京大・宇宙線研²、茨城大・理³、仙台高専⁴、東海大病院⁵、国がん東病院⁶、KEK・素核研⁷)

11:00–11:50 招待講演 1

座長：佐々木道也（電中研）

放射線関連量について気になる点

電子科学研究所 小田啓二 氏

11:50–12:40 国際対応セッション

座長：藤田博喜（原子力機構）

RBE、線質係数、及び放射線加重係数 – これまでの評価と今後の改訂についての検討 –

日本原子力研究開発機構 佐藤達彦 氏

13:30–15:00 特別セッション「次世代層への新しい放射線教育の挑戦と実践」

座長：飯本武志（東大）

授業と課外活動における放射線教育の意義とその実践

慶応義塾大学 井上浩義 氏

先端科学と中等教育の融合に基づく人材育成戦略

京都大学 中村秀仁 氏

総合討論

15:30–17:30 ポスターセッション（グラウンドニッコー東京台場ホテル地下1階（パレロワイヤル））

18:00–20:00 懇親会（グラウンドニッコー東京台場ホテル29階（銀河））

*****第2日目 11月10日(金)*****

会場：グランドニッコー東京台場ホテル 29階（銀河）

9:00-10:00 招待講演 2

座長：杉浦紳之（千代田テクノル）

ICRP2007年勧告策定時前後を振り返って

湘南鎌倉総合病院湘南先端医学研究所 佐々木康人 氏

10:10-11:25 一般セッション 2A1 ラドン・トロン 1

座長：迫田晃弘（原子力機構）

2A1-1 Assessment of Soil-Gas Radon Migration and Transport using Estimation of Radon Diffusion Length and Diffusion Coefficient in the Soil Matrix

○Abhishek Joshi¹、Pooja Panwar¹、Mukesh Prasad²、Krishna Pal Singh³、Prakhar Singh⁴、K. Inoue⁵、R.C. Ramola¹ (H.N.B. Garhwal Univ.¹、Chitkara Univ.²、P.N.G. Govt. P.G. Coll.³、Gurukula Kangri Vishwavidyalaya⁴、Tokyo Metropolitan Univ.⁵)

2A1-2 空間線量率データを用いた Pb-210 湿性沈着モデル計算の検証と日本域沈着量分布の評価

○久納大知、山澤弘実（名古屋大・院・工）

2A1-3 ラドン壊変核種輸送モデルの湿性沈着計算スキームの検討

○高阪太志、山澤弘実（名古屋大・院・工）

2A1-4 小型アクティブ式静電捕集型ラドンモニタの開発

○橋本啓来¹、三瓶葵¹、玉熊佑紀²、山田椋平¹、福原隆宏³、Chutima Kranrod¹、大森康孝¹、細田正洋¹、床次眞司¹（弘前大¹、長崎大²、株式会社アドフューテック³）

2A1-5 Radon as an environmental factor of lung cancer in Bangladesh

○Md. Mahamudul Hasan、Takeshi Iimoto（Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo）

11:40-12:55 一般セッション 2A2 ラドン・トロン 2

座長：山澤弘実（名古屋大）

2A2-1 Characteristic of radon and thoron in the dwelling around the tin mining area in Bangka Island and the resulting inhalation dose.

○Radhia Pradana^{1,2}、Eka Djatnika Nugraha¹、Sharah Nataz Shilfa¹、Yasutaka

Omori³, Wahyudi¹, Untara¹, Irwan Kurnia⁴, Rini Safitri⁵, Chutima Kranrod³, Michiya Sasaki⁶, Ade Devriany⁷, Agus Nur Rachman¹, Rusbani Kurniawan¹, Leli Nirwani¹, Nurokhim¹, Masahiro Hosoda^{2,3}, Shinji Tokonami³ (PRTKMMN, BRIN¹, Grad. Sch. Health. Sci., Hirosaki Univ.², IREM., Hirosaki Univ.³, Dept. Chem., Padjajaran Univ.⁴, Dept. Physics, Syiahkuala Univ.⁵, Div. Bio. Env. Chem., CRIEPI⁶, Polytech. Pangkal Pinang, Indonesia Health Min.⁷)

2A2-2 Environmental effects on the detection response of a novel passive-type radon detector based on the Gafchromic XRQA2 film

○ヲラワット ポルタブティム、床次眞司、大森康孝、チュティマ クランロッド、細田正洋、サオワラック ムシカワン (弘前大・被ばく医療総合研究所)

2A2-3 ラドン散逸係数の評価に関する実験系の構築

○工藤琉衣¹、菊池隼人¹、玉熊佑紀²、大森康孝³、チュティマ クランロッド³、細田正洋^{1,3}、床次眞司³ (弘前大・院・保健学研究科¹、長崎大²、被ばく医療総合研究所³)

2A2-4 パッシブ型ラドン・トロン子孫核種モニタの較正

○菊池隼人¹、織田侑樹¹、橋本啓来¹、チュティマ・克蘭ロッド²、真田哲也³、山田椋平²、大森康孝²、細田正洋^{1,2}、床次眞司² (弘前大¹、北海道科学大²)

2A2-5 呼吸気道内におけるエアロゾル吸湿成長を模擬した実験系の構築

○阿部裕稀¹、田岡愛弥¹、菊池隼人¹、工藤琉衣¹、木曾水稀¹、三瓶葵¹、橋本啓来¹、大森康孝²、Chutima Kranrod²、細田正洋^{1,2}、床次眞司² (弘前大・院・保健学研究科¹、弘前大・被ばく医療総合研究所²)

14:00-14:45 一般セッション 2A3 福島第一原子力発電所事故影響、廃止措置対応 1

座長：真田哲也 (北海道科学大学)

2A3-1 高汚染・高温多湿な作業場における身体負荷を軽減する防護装備の開発(1)冷気送風全面マスクの開発

○小林賢二、石井達也、坪田陽一、塩谷聡、石橋奈敬、中川貴博 (日本原子力研究開発機構)

2A3-2 高汚染・高温多湿な作業場における身体負荷を軽減する防護装備の開発(2)透湿性防護服の開発及び試作装備の効果検証

○石井達也、小林賢二、坪田陽一、塩谷聡、石橋奈敬、中川貴博 (日本原子力研究開発機構)

2A3-3 福島第一原子力発電所廃炉作業を想定した複数核種の同時摂取に対する肺モニタ測定の実用性評価

○渡邊裕貴¹、細見健二¹、川崎晃平²、江崎巖²、高田千恵¹ (日本原子力研究

開発機構¹、株式会社千代田テクノ²)

15:00–15:45 一般セッション 2A4 福島第一原子力発電所事故影響、廃止措置対応 2

座長：真田哲也（北海道科学大学）

- 2A4-1 広域に対する原子力防災応用における大気拡散モデル予測結果の利用法検討
○梶原洸哉、山澤弘実（名古屋大・院・工）
- 2A4-2 福島第一原子力発電所 1号機 燃料取り出しに向けた大型カバー設置工事における眼の水晶体の被ばく低減対策について
○勝見翔吾¹、野村匡芳¹、仲元樹¹、江崎巖²、前俊一郎²、丸本颯人³、椎根翼³、川崎剛美³（東京電力ホールディングス¹、千代田テクノ²、トクヤマ³）
- 2A4-3 放射性セシウムが沈着した環境における体育館の線量低減係数
○田岡愛弥¹、工藤琉衣¹、山田椋平²、大森康孝²、田中和貴²、細田正洋^{1,2}、床次真司²（弘前大・院・保健学研究科¹、弘前大・被ばく医療総合研究所²）

16:10–16:40 大会賞表彰式・閉会式

会場：グランドニッコー東京台場ホテル 29 階（光）

10:10–11:25 一般セッション 2B1 放射線影響・リスク解析、防護理論 1

座長：吉永信治（広島大）

- 2B1-1 放射線リスクと喫煙リスクの相互作用の分析
○永井宏幸（NPO 法人 市民科学研究室）
- 2B1-2 核施設労働者における放射線被曝の寄与割合
○永井宏幸（NPO 法人 市民科学研究室）
- 2B1-3 Uranium in potable groundwater of Garhwal Himalaya, India: Occurrence, health risk and retention in human body organs
○Mukesh Prasad¹、K. Inoue²、S.K. Sahoo³、R.C. Ramola⁴（Chitkara Univ.¹、Tokyo Metropolitan Univ.²、QST³、H.N.B. Garhwal Univ.⁴）
- 2B1-4 ヒト由来水晶体上皮細胞での線量率効果
○松谷悠佑^{1,2}、佐藤達彦²、浜田信行³（北海道大¹、原子力機構²、電中研³）
- 2B1-5 1950 年代にウラル核惨事のテチャ川周辺で発生した人類最大の長期体内被ばく事故の事象をマウス実験で再現することは可能か？
○香崎正宙¹、大津山彰²、阿部利明³、塚本学²、馬田敏幸³、岡崎龍史¹（産業医大・産生科研¹、産業医大・医²、産業医大・RI 研セ³）

11:40–12:55 一般セッション 2B2 放射線影響・リスク解析、防護理論 2

座長：甲斐倫明（日本文理大）

- 2B2-1 家族性大腸がんモデルマウスを用いた腫瘍発生数の線量率応答解析
○藤通有希¹、星裕子¹、大野みずき²、冨田雅典¹（電中研¹、九州大・院・基礎放射線医学²）
- 2B2-2 チタン特性 X 線マイクロビームを用いた放射線誘発バイスタンダー応答による DNA 損傷の定量評価
○冨田雅典¹、伊藤敦²（電中研・サステナブルシステム¹、東海大・工²）
- 2B2-3 放射線関連がんリスクモデルの予測精度による評価
○古川恭治（久留米大・バイオ統計センター）
- 2B2-4 放射線を照射した野生型マウスの大動脈に生じる血管損傷：線量遷延の低減・増強効果
○浜田信行¹、川野樹一郎²、廣田誠子²、齋藤勇介²、Farina Mohamad Yusoff²、丸橋達也²、前田誠²、野村崇治¹、中島歩²、吉永信治²、東幸仁²（電中研¹、広島大²）
- 2B2-5 保健物理学のための確率分布の体系化
○熊澤蕃¹、豊田亘博²、加藤和明³（元原研¹、豊田放射線研²、洗練課題研³）

14:00–14:45 一般セッション 2B3 線量評価 1

座長：高田千恵（原子力機構）

- 2B3-1 内部被ばく線量評価コードの開発状況と講習会の試行
○室田修平、真辺健太郎、高橋史明（日本原子力研究開発機構）
- 2B3-2 Kind-mini を用いたクルックス管からの低エネルギー X 線スクリーニング法の着地点
○吉永直樹¹、松浦寛人¹、朝田良子¹、掛布智久²、秋吉優史¹（大阪公立大・院・工¹、日本科学技術振興財団²）
- 2B3-3 特性 X 線による模擬創傷部ふき取り試料中アクチニドの定量分析
○小川優大^{1,2}、野田周成^{1,2}、柳澤右京^{3,2}、松山嗣史^{4,2}、酒井康弘^{3,2}、浅井竜哉^{1,2}、吉井裕²（福井大・工¹、量研・放医研²、東邦大・理³、阪公大・院・工⁴）

15:00–15:30 一般セッション 2B4 線量評価 2

座長：松本真之介（東京都立大）

- 2B4-1 福島県浜通り地域における外部被ばくによる線量評価
○織田侑樹¹、木曾水稀¹、三瓶葵¹、橋本啓来¹、平良文亨²、大森康孝¹、田

副博文¹、クランロッド・チュティマ¹、清水真由美¹、工藤ひろみ¹、赤田尚史¹、山田棕平¹、山口平¹、細田正洋¹、床次眞司¹、(弘前大¹、長崎大²)

2B4-2 福島県浜通り地域における天然および人工放射性核種からの吸入被ばく線量評価

○三瓶葵¹、織田侑樹¹、菊池隼人¹、木曾水稀¹、工藤琉衣¹、山口平¹、平良文亨²、山田棕平¹、大森康孝¹、田副博文¹、チュティマ・クランロッド¹、清水真由美¹、工藤ひろみ¹、玉熊佑紀²、赤田尚史¹、細田正洋¹、床次眞司¹ (弘前大¹、長崎大²)

15:30-16:00 一般セッション 2B5 放射性廃棄物、リスクコミュニケーション

座長：松本真之介（東京都立大）

2B5-1 放射性物質汚染に向き合った地方自治体の活動経緯の解釈と残存する課題対応に関する考察-千葉県柏市を例にして-

○橋間俊¹、飯本武志¹、黄倉雅広¹、高木利恵子²、石川和洋³（東京大¹、エネルギー広報企画舎²、柏市役所³）

2B5-2 放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学的視点からの考察（専門研究会中間活動報告）

○保田浩志¹、麓弘道²、齋藤龍郎³、笠井篤⁴、清岡英男⁵、金千皓⁶、菅原慎悦⁷、杉山大輔⁸、土田昭司⁷、山口文恵³（広島大¹、日本検査(株)²、原子力機構³、元日本原子力研究所⁴、東京電力HD(株)⁵、東京大⁶、関西大⁷、電中研⁸）

会場：グランドニッコー東京台場ホテル 29 階（虹）

10:25-11:25 一般セッション 2C1 放射線計測 1

座長：伊知地猛（電中研）

2C1-1 SiC 半導体を用いたアルファ線検出器の研究

○青山敬¹、鈴木崇仁¹、中村尚司^{1,2}、永井寛大³、島添健次³（富士電機株式会社¹、東北大²、東京大³）

2C1-2 SiC 半導体を用いた中性子検出器の研究

○永井寛大¹、島添健次²、青山敬³、鈴木崇仁³、中村尚司^{3,4}（東京大・工¹、東京大・院・工²、富士電機株式会社³、東北大⁴）

2C1-3 薄膜 PEN シンチレータの α 線選別測定への適用に関する検討

○添田悠也¹、山田崇裕²（近畿大・理工¹、近畿大・原子力研²）

- 2C1-4 α 線源の放射能分布とその放射能測定への影響
○大塚聖也¹、山田崇裕² (近畿大・理工¹、近畿大・原子力研²)

11:40–12:40 一般セッション 2C2 放射線計測 2

座長：布宮智也 (富士電機)

- 2C2-1 ろ紙の放射能測定におけるダスト・水の影響及び不確かさの評価
○嘉藤達樹、平戸未彩紀、松尾一樹、高橋映奈、田村健、永岡美佳、山崎巧、中川貴博 (日本原子力研究開発機構)
- 2C2-2 Comparative study on natural radionuclide measurement and radiation dose assessment by *in-situ* and laboratory measurements
○サオワラック ムシカーワン¹、ヲラワット ポルタブティム¹、ケムルータイ ケアンムシ¹、チュティマ クランロッド²、細田正洋^{1,2}、大森康孝²、田副博文²、赤田尚史²、床次眞司² (弘前大・院・保健¹、弘前大・被ばく研²)
- 2C2-3 大気中の α 線放出核種捕集用フィルタにおける粒径及び捕集流量の依存性評価
○木曾水稀、田岡愛弥、三瓶葵、橋本啓来、阿部裕稀、山田椋平、クランロッド・チュティマ、大森康孝、細田正洋、床次眞司 (弘前大)
- 2C2-4 排気中放射能濃度モニタの二重化
○伊知地猛、高島元気 (電中研・横須賀運営センター)

14:15–14:45 一般セッション 2C3 医療被ばく

座長：米内俊佑 (量研機構)

- 2C3-1 人体ファントムを用いた小児股関節撮影時の被ばく線量評価
○川浦稚代¹、向山隆史²、藤井啓輔¹、今井國治¹ (名古屋大・院・医¹、名大病院²)
- 2C3-2 犬悪性黒色腫細胞に対する BNCT 効果の検証
○土本一貴、吉橋幸子、山崎淳、瓜谷章 (名古屋大・院・工)

15:00–16:00 一般セッション 2C4 法規制・標準化、放射線教育

座長：井上一雅 (東京都立大)

- 2C4-1 放射線業務従事者に対する健康診断の施設別実態調査
○岡崎龍史¹、立石清一郎²、後藤元秀³、渡部浩司⁴、大野和子⁵、藤淵俊王⁶、吉村崇⁷、百瀬琢磨⁸、青木隆敏⁹ (産業医大・産業生態科学研究所・放射線衛生管理学¹、産業医大・産業生態科学研究所・災害産業保健センター²、産業医大・産業生態科学研究所・職業性中毒学³、産業医大・医・放射線科⁴、東北大・サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター⁵、京都医療科学大・医療

科学部・放射線技術学科⁶、九州大・院・保健学部門医用量子線科学分野⁷、
大阪大・放射線科学基盤機構⁸、日本原子力研究開発機構⁹)

- 2C4-2 学生を対象とした放射線に関する意識と不安の実態調査
○中尾海太、大嶋可胡、竹吉正侑、上島奈菜子、新井知大、金子順一(駒澤大)
- 2C4-3 OSL線量計を用いたクルックス管からの低エネルギーX線測定サービス
○秋吉優史(Dep Eng, Osaka Metropolitan Univ.)
- 2C4-4 放射性同位元素等の規制に関する法令改正に伴う外部被ばく線量管理について
○神戸勇汰、向田直樹、鈴木敏和(東京電力ホールディングス株式会社)

ポスター発表

ポスターセッション：2023年11月9日（木）15:30-17:30

会場：グラントニッコー東京台場ホテル地下1階（パレロワイヤル）

*****ポスター発表演題一覧*****

- P-01 当院の核医学検査に従事する診療放射線技師の被ばく線量の実態調査
○高村豪、太田伸矢、小林瞳（竹田総合病院・放射線科）
- P-02 自己遮へい型の放射線機器の事前放射線安全評価の課題
○山口一郎（国立保健医療科学院）
- P-03 ICRP 刊行物の翻訳状況紹介 ―原子力規制庁「令和5年度放射線対策委託費（国内規制に係る国際放射線防護委員会刊行物の調査）事業」
○平杉亜希、庄沁優、賞雅朝子、當麻秀樹（令和5年度ICRP刊行物翻訳事業事務局，日本エヌ・ユー・エス株式会社）
- P-04 ICRU Report95 新実用量の個人被ばく線量測定サービスへの影響
○澤井千秋、宇部道子、小口靖弘（千代田テクノル）
- P-05 Behavior Analysis of Indoor Radioactive Aerosols
○チュティマ クランロッド、床次眞司（弘前大・被ばく研）
- P-06 原子力災害前後における放射線情報等の入手と理解の傾向分析と考察
○飯本武志¹、高嶋隆太²、伊藤真理³、主原愛¹、坂井識顕⁴、保田浩志⁵（東京大¹、東理大²、神戸大³、原文財団⁴、広島大⁵）
- P-07 ミセルゲル線量計の光子線および中性子線に対するエネルギー依存性の評価
○成田亮介¹、林慎一郎²、若林源一郎³、櫻井良憲⁴（京都大・院・工¹、広島国際大・保健医療²、近畿大・原研³、京都大・複合研⁴）
- P-08 実環境中の放射性エアロゾル被ばく評価のための基礎的調査
○岩岡和輝¹、エンカボ ロザリオ²、オリバレス ジュアナリオ²、渡辺嘉人¹、玉熊佑紀³、細田正洋⁴、床次眞司⁴、フェリシアノ チト²、盛武敬¹（量研¹、フィリピン原子力研究所²、長崎大³、弘前大⁴）
- P-09 確率論的アプローチに基づく放射性廃棄物処分施設の設計オプション比較方法
―日本国内の自然放射線の変動を考慮した感度解析―
○杉山大輔、中林亮、黒田知眞（電中研）
- P-10 我が国の放射線防護及び原子力災害対策へ反映すべき国際動向の調査（原子力規制庁 令和5年度国際放射線防護調査事業）
○国際放射線防護調査専門委員会事務局

- P-11 Alpha particle spectrometry in fluorescent nuclear track detectors
○Jun Hu (National Institutes for Quantum Science and Technology)
- P-12 吸収線量の概念に基づいて化学線量計 PVA-KI を用いた紫外線照射量の測定
○岩谷良郎、松浦寛人、朝田良子、秋吉優史 (大阪公立大・院・工)
- P-13 最新の分析・測定技術によるバイオアッセイ手順の整備に向けた文献調査
○藤田博喜、横山裕也、前原勇志、高田千恵 (日本原子力研究開発機構)
- P-14 日本における屋内ラドンのリスクと参考レベルの効果推定
○迫田晃弘、石森有 (原子力機構)
- P-15 放射能の風評に対する内省的実践の概念
○大谷浩樹、加賀美侑汰、稲村洸輝、三由幸輝 (帝京大)
- P-16 モンテカルロ計算を用いた連続捕集型ダストモニタの測定ジオメトリの最適化—フィルタ内の放射能深さ分布及び人工放射性核種の検出下限濃度の検討—
○玉熊佑紀¹、橋本啓来²、山田椋平³、岩岡和輝⁴、大森康孝³、細田正洋^{2,3}、床次眞司³ (長崎大・放射線総合センター¹、弘前大・院・保²、弘前大・被ばく研³、量子科学技術研究開発機構⁴)
- P-17 実環境下の KURAMA - II の長期定点観測データ
○五十嵐悠¹、濱口拓¹、前田英太¹、山田純也¹、武藤保信¹、谷垣実²、野原尚史¹ (日本原子力研究開発機構大洗研究所¹、京都大学複合原子力科学研究所²)
- P-18 ケイ酸バリウムを主成分とするストロンチウム収着剤を用いた海水・陸水中の放射性ストロンチウムの迅速測定法の開発
○緒方良至¹、小島貞男¹、有信哲哉¹、箕輪はるか²、加藤結花³、杉原真司⁴ (愛知医大¹、慈恵医大²、日本レイテック³、九州大⁴)
- P-19 ²⁴¹Am 線源校正場と X 線校正場におけるサーベイメータ特性の比較
○辻智也、吉富寛、谷村嘉彦 (日本原子力研究開発機構)
- P-20 アニールの繰り返しによる OSL 線量計の特性調査
○前田剛、佐佐木光、星勝也、藤田博喜 (日本原子力研究開発機構)
- P-21 「被ばくのカテゴリーと被ばく状況に関する検討委員会」活動報告
○杉浦紳之¹、犬飼裕司¹、佐々木道也² (千代田テクノル¹、電中研²)
- P-22 放射線影響の科学と国際人権や環境正義に基づく放射線防護
○瀬川嘉之 (高木学校)
- P-23 双方向リスクコミュニケーションゲームにおける放射線専門・非専門大学生の効果性の異同検証
○横山須美¹、竹西亜古²、伊藤光代³、羽場友信⁴、山田あゆみ⁵、秋津裕⁶、(長崎大¹、兵庫教育大・院²、静岡医療科学専門学校³、藤田医科大⁴、藤田医科大・ばんたね病院⁵、エネルギーリテラシー研究所⁶)

- P-24 アンフォールディング手法適用による放射性ダストモニタの高性能化検討
○笹野理¹、林真照¹、柳川祐輔^{1,2}、甲斐雅敏²、中野康嗣²、笠井威志²、大澤慶嗣² (三菱電機¹、三菱電機プラントエンジニアリング²)
- P-25 エックス線被ばく事故検討WGの活動 –放射線安全文化醸成に資する、教育、線量評価、及び事故情報発信のあり方–
○五十嵐悠、秋吉優史、榎本敦、小嶋光明、小田啓二、笠井篤、川島恒憲、古渡意彦、阪間稔、高橋賢臣、辻本忠、中村美和、橋本周、浜田信行、福土政広、山口一郎、飯本武志 (日本保健物理学会エックス線被ばく事故検討WG)
- P-26 Dose-rate coefficients for external exposures to radionuclides distributed uniformly in the soil computed using the ICRP Publication 144 method
○Daiki Satoh¹、Nina Petoussi-Henss² (Japan Atomic Energy Agency¹、Federal Office for Radiation Protection²)
- P-27 医学部学生の被ばく管理の試み
○伊藤照生¹、五十嵐隆元²、桐生茂³ (国際医療福祉大・成田保健医療学部¹、国際医療福祉大・成田病院²、国際医療福祉大・医³)
- P-28 He-3 代替検出器を用いた中性子線量率計の開発
○林真照¹、笹野理¹、東哲史¹、中西正一¹、渡辺幸信²、川瀬頌一郎²、執行信寛³ (三菱電機¹、九州大・院・総理工²、九州大・院・工³)
- P-29 New-designed Measurement System for Radon Progeny Activity Size Distribution Based on Screen Diffusion Battery
Hao Wang, Jinmin Yang, Lei Zhang, ○Qiuju Guo (State Key Laboratory of Nuclear Physics and Technology, School of Physics, Peking University)
- P-30 線量管理の平均化単位の違いによる放射線リスクと考察
○佐々木道也、木村建貴、岩崎利泰、吉田和生 (電中研)
- P-31 先端科学と中等教育の融合に基づく人材育成戦略 (その1)
○中村秀仁¹、細井琢生²、寺島さくら²、畠中聖虹²、樋野裕斗²、金野夏子²、岩本信久²、大森勇²、金川昌由²、木ノ脇求²、渋谷吉孝²、塚野友惟²、辻晃子²、宮本聡² (京都大・複合研¹、大阪高等学校²)
- P-32 先端科学と中等教育の融合に基づく人材育成戦略 (その2)
○中村秀仁¹、細井琢生²、寺島さくら²、畠中聖虹²、樋野裕斗²、金野夏子²、岩本信久²、大森勇²、金川昌由²、木ノ脇求²、渋谷吉孝²、塚野友惟²、辻晃子²、宮本聡² (京都大・複合研¹、大阪高等学校²)
- P-33 福島県で採取した野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度の菌根菌と腐生菌との比較
○稲垣昌代¹、山田崇裕¹、山西弘城¹、福田泰久²、白坂憲章²、種坂英次² (近大・原研¹、近大・農²)

- P-34 動物 BNCT の実現に向けた着脱式モジュールの設計と線量評価
○水口渉、吉橋幸子、山崎淳、瓜谷章（名古屋大・工）
- P-35 トリチウム分析前処理における試料水精製工程の効率化に関する検討
○山中潤二¹、玉利俊哉¹、島長義¹、桑田遥²、柿内秀樹³、今井祥子³、赤田尚史²（九州環境管理協会¹、弘前大・被ばく医療総合研究所²、環境科学技術研究所³）
- P-36 電解濃縮装置を用いた海水の極低濃度トリチウム分析
橋本晃佑¹、○前川暁洋¹、寺島元基²、小荒井一真²、井上広海¹（福島県環境創造センター¹、日本原子力研究開発機構・廃炉環境国際共同研究センター²）
- P-37 放射線防護に関する教育プログラム構築の事例紹介
○石川徹夫（福島医大・医）
- P-38 Assessment of Tritium Concentrations in Precipitation and Tap Water Collected in Thailand
○Chonlada Pitakchaianan¹、Kanyanan Kosinarkaranan¹、Pantiwa Kumsut¹、Ryuta Hazama¹、Tatsuhide Hamasaki¹、Anawat Rittirong²、Koichi Sakakibara³、Yoshiyuki Hirano⁴、Koki Kashiwaya⁵、Yoshimune Ogata⁶、Yuka Kato⁷、Wanwisa Sudprasert⁸、Kiadtisak Saenboonruang⁸、Chittranuch Chantarot⁸、Kanokwan Khamanek⁸、Soontree Khuntong⁹、Donruedee Toyen¹⁰、Archara Phattanasub¹¹、Monthon Yongprawat¹²、Chakrit Saengkorakot¹¹、Piyawan Krisanangkura¹²（Graduate School of Human Environment, Osaka Sangyo University¹、Research Center for Nuclear Physics, Osaka University²、Faculty of Science, Shinshu University³、Department of Radiological Sciences, Nagoya University Graduate School of Medicine⁴、Graduate School of Engineering, Kyoto University⁵、Department of Chemistry, Aichi Medical University⁶、Nippon Raytec Co., Ltd.⁷、Department of Applied Radiation and Isotopes, Kasetsart University⁸、Faculty of Science at Sriracha, Kasetsart University⁹、Department of Materials Science, Kasetsart University¹⁰、Thailand Institute of Nuclear Technology¹¹、Office of Atoms for Peace¹²）
- P-39 福島県沿岸域における表層海水中トリチウム濃度及び同位体組成の推移
○桑田遥¹、山田椋平²、ケムルータイ ケアナムシリ¹、田副博文²、天野洋典³、遠藤雅宗³、一柳錦平⁴、赤田尚史²（弘前大・院・保健¹、弘前大・被ばく研²、福島県・水産海洋セ³、熊本大・先端科学⁴）
- P-40 Attributes of ⁷Be and ²¹⁰Pb dynamics in the lower atmosphere over Osaka, Japan, alongside the size dispersion of key chemical constituents within aerosols adhered to ⁷Be
○Kanyanan Kosinarkaranun¹、Ryuta Hazama¹、Pantiwa Kumsut¹、Chonlada Pitakchaianan¹、Tatsuhide Hamasaki¹、Anawat Rittirong²、Hisakazu Muramatsu³、Pannipa Noithong⁴（Graduate School of Human Environment, Osaka Sangyo

University¹、Research Center for Nuclear Physics, Osaka University²、Chemistry Division, Faculty of Education, Shinshu University³、Mahanakorn Khonkaen-Asia Technological College⁴)

P-41 Literature survey on the ingestion dose from radionuclides in beverages for the better upcoming assessment

○ケアンムシリケムルータイ¹、山田椋平²、クランロッドチュティマ²、タンウイジットタリカ³、インヤムナリット⁴、ケアナククリット⁴、田副博文²、赤田尚史² (弘前大・院・保健¹、弘前大・被ばく研²、チェンマイ大・保³、チェンマイ大・農⁴)

P-42 走行サーベイによる北海道寿都町の環境放射線レベルの調査

高橋竜人¹、○真田哲也² (旭川脳神経外科循環器内科病院¹、北海道科学大・保健医療²)

P-43 小型半導体検出器による肺中 Am-241 の検出に関する検討

○根上颯珠、谷幸太郎、内藤雅之、三瓶優真、小林右承、矢島千秋、金ウンジュ、富永隆子、栗原治 (量研・放医研)

P-44 ダストモニタを用いた全 α 測定にかかる改善の検討について

○岡光昭、外川洋一、川上栞奈、川辺賢真、永井進、佐々木耕一 (日本原燃株式会社)

P-45 東海再処理施設における放射性クリプトンの管理放出に伴う放出評価

○高橋映奈¹、横田友和²、森藤将之¹、西村周作¹、井崎賢二¹ (日本原子力研究開発機構¹、検査開発株式会社²)